

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	わくわくクラブ茨木校・児童発達支援		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 11日		～ 2025年 1月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 11日		～ 2025年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 30日		

○分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個々に合わせた支援プログラムで支援をすることが可能	・日々新しい教材の作成・調査をおこない幅広い発達年齢のお子様の支援ができています	・当社において茨木校以外にも関西で運営している2教室と連携をして教材開発ができるシステムを作る
2	・多様なスタッフが揃っている	・幅広い年代様々な経歴を持ったスタッフが勤務しておりそれぞれの経験からの助言を保護者の方へすることができています	・スタッフの研修を充実させより専門的な視点からアプローチができるよう体制を整える
3	・広い支援スペースが確保されている	・個室と屋内広場の両方を使用し静と動の切り替えを促すことができています ・身体を大きく動かし様々な取り組みをおこなうことで体幹の強化やボディイメージの改善を図っている	・グループでの協力やコミュニケーションが求められる遊びや活動をおこない子どもたちの協調性やチームワークのスキルを高める 取り組みを取り入れ幅広いニーズに対応していく

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・外部連携の件数が少ない	・相談支援専門員が付いている児童が少なくサービス担当者会議が実施されることが少ない	・他事業所や園と連携を図るため連絡体制を整える ・保護者へも連携を取ることが可能であることを周知し保護者からの希望も募っていく
2	・保護者同士の交流できる場が少ない	・保護者向けのイベントが年に数回と少ない ・開催回数が少ないために保護者への認知度も低い	・保護者会の定期的な開催を実現させ参加できる機会を増やす ・告知方法を増やし会の認知度を高める
3	・非常時の対応について保護者の認知度が低い	・細かな説明は契約時のみの説明となっており保護者へ周知されていない	・定期的な周知方法を検討・実施する ・避難訓練を実施した際はブログへアップしどのような訓練をしているか発信していく